



平成30年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年4月13日

上場会社名 住江織物株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3501 URL http://suminoe.jp/
 代表者(役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 吉川 一三
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営企画室部長 (氏名) 永田 鉄平 (TEL) 06-6251-6803
 四半期報告書提出予定日 平成30年4月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年5月期第3四半期の連結業績(平成29年6月1日～平成30年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年5月期第3四半期	73,333	3.2	1,796	392.0	1,965	306.4	769	—
29年5月期第3四半期	71,068	△2.3	365	△80.0	483	△76.3	△113	—

(注) 包括利益 30年5月期第3四半期 2,258百万円(84.5%) 29年5月期第3四半期 1,224百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年5月期第3四半期	101.98	—
29年5月期第3四半期	△15.04	—

※当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年5月期第3四半期	93,184	38,978	36.8
29年5月期	90,254	37,398	36.9

(参考) 自己資本 30年5月期第3四半期 34,279百万円 29年5月期 33,285百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年5月期	—	3.50	—	3.50	7.00
30年5月期	—	3.50	—	—	—
30年5月期(予想)	—	—	—	35.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年5月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年5月期(予想)の期末配当金は3円50銭となり、1株当たり年間配当金は7円となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年5月期の連結業績予想(平成29年6月1日～平成30年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	97,500	1.5	2,800	115.8	2,950	116.2	1,500	—	198.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年5月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の通期1株当たり当期純利益は19円88銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年5月期3Q	7,682,162株	29年5月期	7,682,162株
② 期末自己株式数	30年5月期3Q	139,282株	29年5月期	138,461株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年5月期3Q	7,543,445株	29年5月期3Q	7,544,216株

※当社は、平成29年12月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

(株式併合後の配当および業績予想について)

当社は、平成29年8月30日開催の第128回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成29年12月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更 (1,000株から100株への変更) を実施しております。

なお、当該株式併合の影響を考慮しない場合の平成30年5月期の配当および連結業績予想は以下のとおりであります。

1. 平成30年5月期の配当予想
 - 1株当たり配当金
 - 期末 3円50銭
 - 年間 7円
2. 平成30年5月期の連結業績予想
 - 1株当たり当期純利益
 - 通期 19円88銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）経営成績に関する説明	P. 2
（2）財政状態に関する説明	P. 3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
（1）四半期連結貸借対照表	P. 4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	P. 7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
（継続企業の前提に関する注記）	P. 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 8
（セグメント情報）	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や良好な雇用環境を背景に、緩やかな回復が続きました。海外においても、米国をはじめ世界経済の回復が進みましたが、米国の政権運営に対する懸念や地政学的リスクの高まりに加え、円高の進行により、先行きの不透明感が強まりました。

このようななか、第5次中期3ヵ年経営計画「2020」の初年度である当期の第3四半期における連結業績は、売上高733億33百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益17億96百万円（同392.0%増）、経常利益19億65百万円（同306.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億69百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億13百万円）となりました。

セグメントの業績については、次のとおりであります。

(インテリア事業)

業務用カーペットでは、水平循環型リサイクルタイルカーペット「ECOS®（エコス）」の海外輸出が堅調に推移しました。一方、国内市場では、オフィスビルや商業施設、ホテル向けの新築およびリニューアル案件の受注に注力したものの、大型案件が少なく、売上は前年同期を下回りました。カーテンでは、「mode S®（モードエス）Vol.8」が好調に推移したものの、医療・福祉・教育施設向けカーテン「Face」は案件が少なかったことから伸び悩み、売上は前年同期を下回りました。一般家庭向けカーペット、ラグ・マットでは、消費者の節約志向が依然として続いており、売上は前年同期を下回りました。壁紙では、「ルノンフレッシュプレミアム」、量産タイプの「ルノン・マークII」がともに堅調に推移したものの、「ルノンホーム」が苦戦し、売上は前年同期をやや下回りました。

以上の結果、インテリア事業では、売上高253億49百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益48百万円（同83.2%減）となりました。

(自動車・車両内装事業)

自動車関連では、国内は、カーペット事業、マット事業およびシートファブリック事業ともに順調に推移し、特にシートファブリック事業の新規商材が好調となった結果、売上は前年同期を上回りました。海外では、米国子会社 Suminoe Textile of America Corporationが収支改善への取り組みを続けるなか、日系自動車メーカーの販売台数が過去最高を更新した中国をはじめ、タイにおいてもシートファブリック事業が好調に推移した結果、売上は前年同期を上回りました。自動車関連全体では売上、営業利益ともに前年同期を上回りました。

車両関連では、鉄道向けは、JRの補修需要が復調し、新車案件も順調に受注したものの、豪華列車案件が終了したため、売上は前年同期並みとなりました。バス向けは、安全規制の強化によるモデルチェンジ前の駆け込み需要の反動や、インバウンドの旅行形態の変化により新車生産が落ち込み、売上は前年同期を下回りました。航空機向けは、シート地だけでなく、新たな商材が採用され、売上が増加しました。車両関連全体では、売上は前年同期を下回りましたが、営業利益は前年同期並みとなりました。

以上の結果、自動車・車両内装事業では、売上高447億48百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益25億74百万円（同16.8%増）となりました。

(機能資材事業)

ホットカーペットは、販売数量を伸ばしたものの、商品構成が変わり、減収減益となりました。消臭・フィルター関連は、冷蔵庫向け消臭フィルターが振るわなかったものの、空気清浄機および暖房機向け消臭フィルター、パッケージをリニューアルした家庭用脱臭・消臭剤Tispaシリーズ「香りでごまかさない 本当の消臭」が好調に推移し、増収増益となりました。浴室向け床材は、堅調に推移したものの、売上、営業利益ともに微減となりました。土木用資材、ダストマット向けポリエステル長繊維「スミトロン®」は、好調に推移し、増収増益となりました。

以上の結果、2016年12月末に中超住江 デバイス・テクノロジー株式会社を連結の範囲から除外した影響もあり、売上高31億31百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益2億3百万円（同20.4%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、売上債権の増加等により、前連結会計年度末に比べ29億30百万円増加し、931億84百万円となりました。

負債につきましては、仕入債務の増加等により、前連結会計年度末に比べ13億50百万円増加し、542億6百万円となりました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の増加等により、前連結会計年度末に比べ15億79百万円増加し、389億78百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は概ね計画どおりに推移しており、平成29年7月14日に発表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,050	7,937
受取手形及び売掛金	17,866	19,006
電子記録債権	4,719	5,808
商品及び製品	10,449	11,144
仕掛品	1,925	1,954
原材料及び貯蔵品	4,170	3,933
その他	4,776	3,885
貸倒引当金	△23	△25
流動資産合計	50,934	53,646
固定資産		
有形固定資産		
土地	17,604	17,613
その他(純額)	10,238	9,946
有形固定資産合計	27,842	27,560
無形固定資産		
	1,047	993
投資その他の資産		
投資有価証券	9,037	9,681
その他	1,535	1,448
貸倒引当金	△143	△145
投資その他の資産合計	10,429	10,984
固定資産合計	39,319	39,537
資産合計	90,254	93,184

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年5月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,381	15,813
電子記録債務	3,854	4,336
短期借入金	12,411	13,562
未払法人税等	462	559
その他	4,109	3,391
流動負債合計	36,218	37,664
固定負債		
社債	500	500
長期借入金	6,035	5,582
役員退職慰労引当金	334	370
退職給付に係る負債	4,048	4,096
その他	5,718	5,992
固定負債合計	16,636	16,542
負債合計	52,855	54,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,554	9,554
資本剰余金	2,652	2,652
利益剰余金	10,266	10,508
自己株式	△362	△364
株主資本合計	22,111	22,349
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,035	3,649
繰延ヘッジ損益	△9	△37
土地再評価差額金	7,797	7,797
為替換算調整勘定	549	695
退職給付に係る調整累計額	△198	△174
その他の包括利益累計額合計	11,174	11,930
非支配株主持分	4,113	4,698
純資産合計	37,398	38,978
負債純資産合計	90,254	93,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
売上高	71,068	73,333
売上原価	56,915	58,568
売上総利益	14,152	14,764
販売費及び一般管理費	13,786	12,967
営業利益	365	1,796
営業外収益		
受取利息	8	7
受取配当金	145	121
持分法による投資利益	62	53
不動産賃貸料	55	175
その他	128	132
営業外収益合計	399	489
営業外費用		
支払利息	175	200
為替差損	20	19
不動産賃貸費用	22	24
その他	62	77
営業外費用合計	281	321
経常利益	483	1,965
特別利益		
固定資産売却益	54	3
投資有価証券売却益	159	667
特別利益合計	213	671
特別損失		
固定資産除売却損	226	6
厚生年金基金解散損失	21	—
特別損失合計	248	6
税金等調整前四半期純利益	449	2,630
法人税、住民税及び事業税	348	886
法人税等調整額	△208	319
法人税等合計	140	1,206
四半期純利益	309	1,424
非支配株主に帰属する四半期純利益	422	654
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△113	769

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年6月1日 至平成29年2月28日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年6月1日 至平成30年2月28日)
四半期純利益	309	1,424
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	836	613
繰延ヘッジ損益	52	△26
為替換算調整勘定	80	224
退職給付に係る調整額	25	24
持分法適用会社に対する持分相当額	△80	△2
その他の包括利益合計	914	833
四半期包括利益	1,224	2,258
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	787	1,525
非支配株主に係る四半期包括利益	436	733

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,905	41,493	3,550	70,950	117	71,068	—	71,068
セグメント間の内部 売上高又は振替高	430	15	3	450	189	639	△639	—
計	26,336	41,509	3,554	71,400	307	71,707	△639	71,068
セグメント利益	290	2,203	169	2,662	70	2,733	△2,368	365

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△2,368百万円には、セグメント間取引消去200万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△2,389百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年6月1日至平成30年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	インテリア 事業	自動車・ 車両内装 事業	機能資材 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,349	44,748	3,131	73,229	103	73,333	—	73,333
セグメント間の内部 売上高又は振替高	489	7	3	499	138	638	△638	—
計	25,838	44,756	3,134	73,729	242	73,971	△638	73,333
セグメント利益	48	2,574	203	2,826	49	2,876	△1,079	1,796

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物性・性能検査業等であります。

2 セグメント利益の調整額△1,079百万円には、セグメント間取引消去210万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,100百万円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門および研究開発部門に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。